



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 加藤製作所

コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 高橋 啓二

TEL 03-3458-1130

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	38,763	17.6	1,993	667.2	2,028	785.7	1,223	142.1
23年3月期第3四半期	32,959	27.5	259	—	228	—	505	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,049百万円 (392.3%) 23年3月期第3四半期 213百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	20.88	—
23年3月期第3四半期	8.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	84,602	31,184	36.9
23年3月期	75,231	30,458	40.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 31,184百万円 23年3月期 30,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	21.0	2,000	51.0	2,100	66.5	1,700	32.8	29.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	58,717,936 株	23年3月期	58,717,936 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	108,185 株	23年3月期	105,884 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	58,611,061 株	23年3月期3Q	58,613,747 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興を目指した様々な取り組みが進むにつれ、混乱状態から、徐々に落ち着きを取り戻してまいりましたが、一方で、米国景気の先行き不安や、欧州経済に対する不信感などから、円高・株安、雇用不安等は払拭されず、総じて不安定な状況にて推移いたしました。

当社グループの事業環境は、中国の油圧ショベル需要の足踏み状態は続いておりますものの、国内の建設用クレーンならびに油圧ショベルにつきましては、震災からの復興需要もあり、回復の兆しがみられます。このような状況下、当社グループは、さらなる需要の拡大を目指し、積極的な営業活動を推進するとともに、引き続き適正価格の維持と、コストの低減に注力いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高387億6千3百万円（前年同期比117.6%）、営業利益19億9千3百万円（前年同期比767.2%）、経常利益20億2千8百万円（前年同期比885.7%）となり、四半期純利益は12億2千3百万円（前年同期比242.1%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本では、サプライ・チェーンの回復にともない、部品調達も順調に進んでまいりました。建設用クレーン・油圧ショベル等の建設機械の受注環境は、復興需要にも支えられ、徐々に回復し、堅調に推移いたしました。売上高は364億3千6百万円（前年同期比121.4%）となり、セグメント利益は9億7千7百万円（前年同期は6億9百万円の損失）となりました。

② 中国

中国における油圧ショベルの需要は、金融引き締め策の影響から足踏み状態が続いており、上昇傾向はみられません。売上高は87億6千9百万円（前年同期比106.1%）となり、セグメント利益は11億1千2百万円（前年同期比110.3%）となりました。

主要品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設用クレーン

東日本大震災からの復興需要もあり、国内需要は堅調に推移してまいりました。ただ、海外も含め、未だ力強い展開にまでは至っておりません。売上高は196億9千9百万円（前年同期比137.9%）となりました。

② 油圧ショベル等

国内においては、東日本大震災の復興需要から、前年同期を上回る水準で推移いたしましたものの、中国その他の海外地域におきましては、厳しい価格競争もあり、前年同期を下回る結果となりました。売上高は182億6百万円（前年同期比101.6%）となりました。

③ 路面清掃車等

路面清掃車等につきましては、売上高8億5千6百万円（前年同期比112.4%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ93億7千万円(12.5%)増加し、846億2百万円となりました。これは、主として受取手形および売掛金が36億9千5百万円、たな卸資産が62億3千8百万円増加したこと等によるものであります。

(負債の状況)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ86億4千3百万円(19.3%)増加し、534億1千7百万円となりました。これは、支払手形・買掛金が55億9千1百万円、短期・長期借入金が29億6百万円増加したことが主な要因であります。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億2千6百万円(2.4%)増加し、311億8千4百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による12億2千3百万円の増加要因と、配当金の支払い3億2千2百万円ならびに、その他の包括利益の減少1億7千4百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期連結業績につきましては、連結売上高58,000百万円、連結営業利益2,000百万円、連結経常利益2,100百万円、連結当期純利益1,700百万円を予想しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,860	12,648
受取手形及び売掛金	29,236	32,932
たな卸資産	19,381	25,620
繰延税金資産	903	836
その他	1,112	1,438
貸倒引当金	△124	△145
流動資産合計	63,369	73,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,788	3,576
機械装置及び運搬具(純額)	1,067	997
土地	2,744	2,744
建設仮勘定	106	503
その他(純額)	171	158
有形固定資産合計	7,878	7,980
無形固定資産	138	113
投資その他の資産		
投資有価証券	1,413	1,391
破産更生債権等	2,597	2,516
繰延税金資産	1,138	570
その他	1,269	1,215
貸倒引当金	△2,574	△2,517
投資その他の資産合計	3,845	3,177
固定資産合計	11,862	11,271
資産合計	75,231	84,602

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,480	23,071
短期借入金	8,390	10,060
1年内返済予定の長期借入金	3,771	4,016
未払法人税等	126	86
割賦販売前受利息	1,242	1,281
賞与引当金	305	167
製品保証引当金	195	283
その他	544	738
流動負債合計	32,055	39,705
固定負債		
長期借入金	11,388	12,379
退職給付引当金	730	731
役員退職慰労引当金	587	591
その他	11	9
固定負債合計	12,717	13,711
負債合計	44,773	53,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	20,527	21,429
自己株式	△25	△25
株主資本合計	30,548	31,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	9
為替換算調整勘定	△119	△273
その他の包括利益累計額合計	△90	△264
純資産合計	30,458	31,184
負債純資産合計	75,231	84,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	32,959	38,763
売上原価	29,071	33,009
売上総利益	3,887	5,753
販売費及び一般管理費	3,627	3,760
営業利益	259	1,993
営業外収益		
受取利息	5	5
割賦販売受取利息	477	415
受取配当金	8	9
持分法による投資利益	50	13
その他	27	43
営業外収益合計	568	487
営業外費用		
支払利息	250	308
為替差損	300	119
その他	48	24
営業外費用合計	599	453
経常利益	228	2,028
特別利益		
固定資産売却益	2	5
貸倒引当金戻入額	44	—
製品保証引当金戻入額	21	—
前期損益修正益	23	—
その他	16	—
特別利益合計	108	5
特別損失		
固定資産除却損	2	25
特別損失合計	2	25
税金等調整前四半期純利益	334	2,007
法人税、住民税及び事業税	145	134
法人税等調整額	△316	648
法人税等合計	△171	783
少数株主損益調整前四半期純利益	505	1,223
四半期純利益	505	1,223

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	505	1,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	△18
為替換算調整勘定	△216	△154
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△292	△174
四半期包括利益	213	1,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213	1,049
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
(1)外部顧客への売上高	24,713	8,245	32,959	—	32,959
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,296	17	5,313	△5,313	—
計	30,009	8,263	38,273	△5,313	32,959
セグメント利益又は損失(△)	△609	1,008	398	△139	259

(注) 1 セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去3百万円、セグメント間未実現利益消去△142百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
(1)外部顧客への売上高	29,993	8,769	38,763	—	38,763
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,442	—	6,442	△6,442	—
計	36,436	8,769	45,206	△6,442	38,763
セグメント利益	977	1,112	2,089	△96	1,993

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去△96百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。